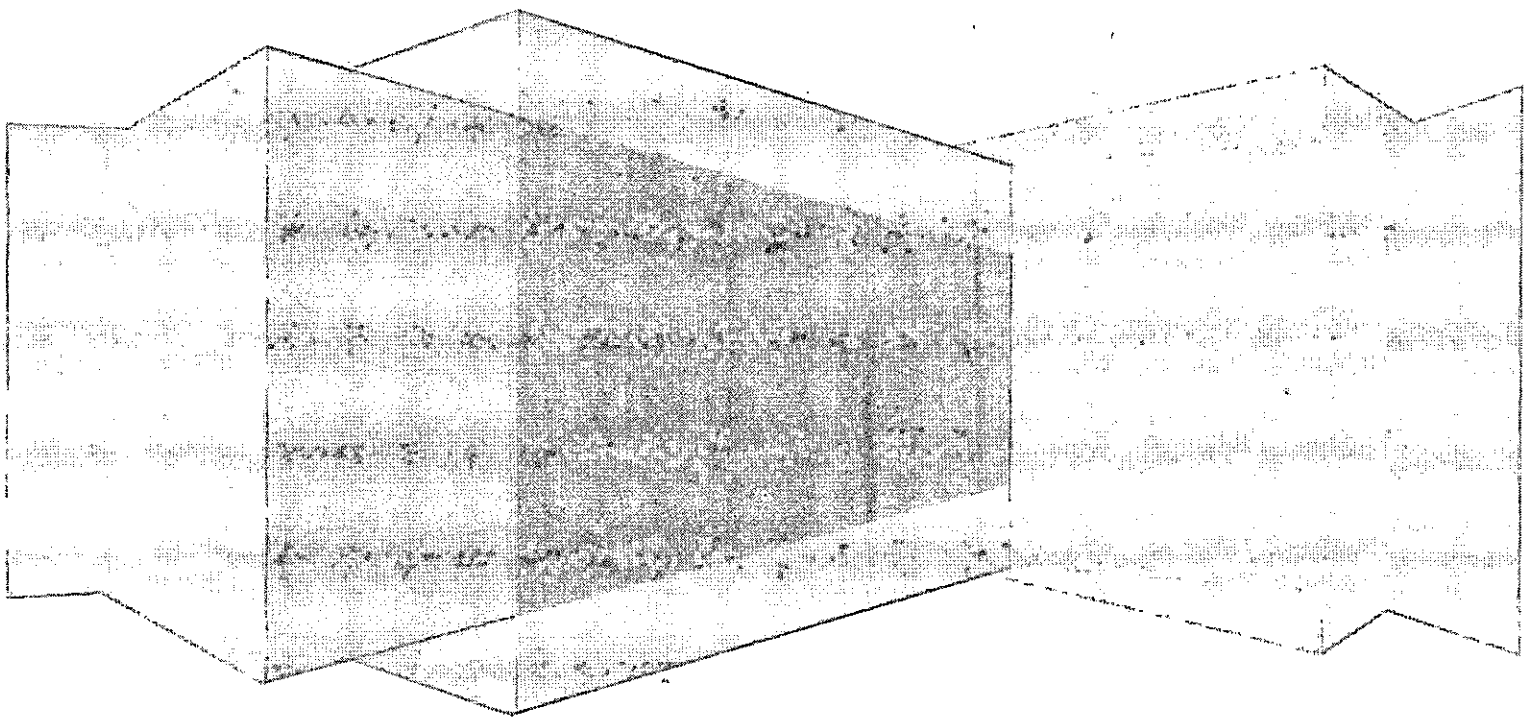
様式第３号

令和８年度事業計画書

千葉市稲毛区長沼コミュニティセンター

指定管理者　　Fun Space・オーチュー共同事業体



目　次

1　基本事項
（1）人員の配置及び緊急連絡体制―――― Ｐ２
（2）使用時間、休館日、利用料金等―――― Ｐ３

2　施設貸出業務に関する実施計画
（1）使用許可受付関係―――― Ｐ６
（2）利用者サービスの向上、稼働率向上の工夫―――― Ｐ７

3　受託事業及び自主事業に関する実施計画
（1）市からの事業実施受託業務―――― Ｐ１２
（2）自主事業―――― Ｐ１５

4　施設維持管理業務に関する実施計画
（1）建築物、建築設備機器保守管理業務―――― Ｐ５５
（2）備品管理業務―――― Ｐ５７
（3）植栽、外構施設維持管理業務―――― Ｐ５８
（4）環境衛生管理業務―――― Ｐ５９
（5）駐車（駐輪）場管理業務―――― Ｐ６０
（6）保安警備業務―――― Ｐ６１
（7）修繕業務―――― Ｐ６２
（8）その他―――― Ｐ６３

5　経営管理業務に関する実施計画
（1）再委託業務―――― Ｐ６４
（2）管理業務の実施状況に関する自己評価―――― Ｐ６５
（3）利用者意見等の把握と対応―――― Ｐ６６

6　その他―――― Ｐ６７

1　基本事項

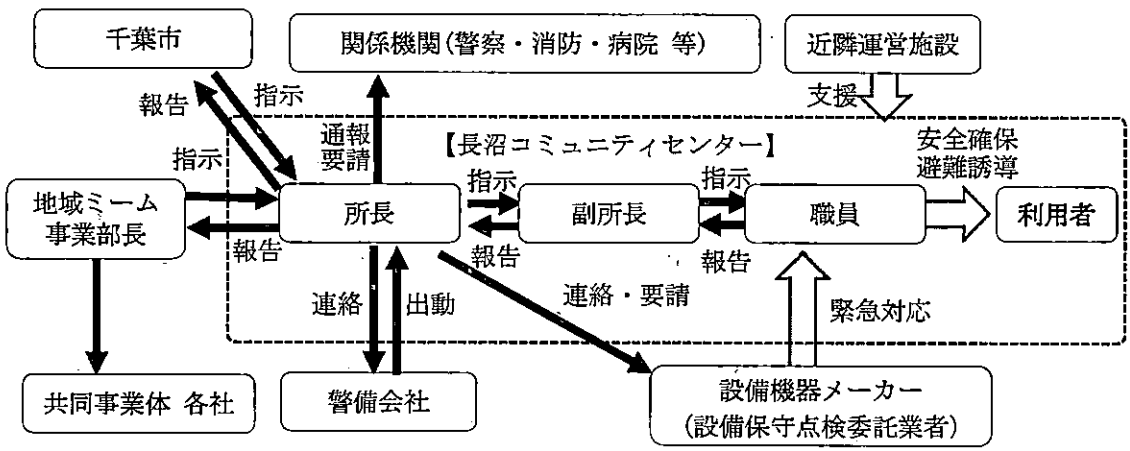
（1）人員の配置及び緊急連絡体制

【人員配置表及び緊急連絡体制図を記載すること。また、その説明文を記載すること。】

【人員配置表】

職名	人数
所長	1名
副所長	2名
設備責任者	1名
受付スタッフ	7名
清掃スタッフ	7名

【緊急連絡体制図】



・本施設の運営責任者として、所長（施設総責任者）、副所長2名（企画運営責任者、総務経理責任者）、維持管理責任者の計4名を配置します。所長は本施設の代表者として、利用者、自治会や学校、地域の事業者の方などの窓口になります。あわせて、代表企業で千葉エリアを統括している地域ミーム事業部長が本施設をバックアップします。

・開館時は職員の巡回による警備を基本とするとともに、緊急事態発生時にスムーズな対応ができるよう、日頃より訓練を実施し、有事に備えます。また、緊急時の連絡体制（連絡網）を作成し、施設内事務所の見やすい場所に掲示します。

・緊急事態は、施設にいる責任者が緊急対応責任者となり、まず警察、消防等への通報を第一に行い、その後直ちに市の担当者へ連絡します。その後、現場に不在の責任者へも直ちに連絡を取り、連絡を受けた責任者は現場に急行します。

・緊急時の総括責任者は地域ミーム事業部長とします。地域ミーム事業部長は、状況を把握した上で、急行するべきか否かの判断を行うと共に共同事業体各社の代表取締役に連絡し対応を決定します。状況に応じて、私たちの市内近隣施設及び本社の職員が駆けつけます。

（2）使用時間、休館日、利用料金等

【使用時間、休館日、利用料金等を記載すること。】

■諸室の利用料金

部屋名	金額	摘要
創作室	490円	左記は1コマの金額
講習室	420円	
集会室	240円	1コマの時間割は
和室	300円	午前9時～午前11時
音楽室	650円	午前11時～午後1時
料理実習室	440円	午後1時～午後3時
サークル室	560円	午後3時～午後5時
大広間	690円	午後5時～午後7時
多目的室	1,600円	午後7時～午後9時
会議室	420円	の2時間とする
※超過時間1時間までごとに、上記金額の1/2を追加利用料金とする。（10円未満の端数切捨て）		

■体育館の利用料金

個人使用			専用使用				
区分	2時間まで	超過1時間につき	区分		9時～13時	13時～17時	17時～21時
一般	280円	140円	一般	全面	5,960円	5,960円	11,920円
シニア	220円	140円		半面	2,980円	2,980円	5,960円
中・高校生	140円	70円	高校生以下	全面	2,980円	2,980円	5,960円
小学生以下	90円	40円		半面	1,490円	1,490円	2,980円
※いずれも1人あたり料金 ※30人以上の団体利用は1割引 ※シニアとは満65歳以上の利用者			※超過時間1時間までごとに、上記の該当時間帯金額の1/4を追加利用料金とする（10円未満の端数切捨て）				

■体育館の利用回数券

区分	金額	内容	使用可能施設	使用可能期間
一般	2,800円	140円券×22枚	体育館	指定管理期間 令和13年3月31日 まで有効
シニア	2,200円	220円券×10枚		
中・高校生	1,400円	70円券×22枚		
小学生以下	900円	90円券×11枚		

■コインロッカーの使用料

区分	料金
コインロッカー	1回につき10円

■こどもの日、スポーツの日の各1日と、市民の日及びその直近の土曜日及び日曜日は体育館を無料開放します。ただし、市民の日が土曜日又は日曜日の場合は、直近の金曜日を含めた3日とします。

【減免について】

減免の対象及び事例	根拠	減免の内容
①身体障害者福祉法第15条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者 ②精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第45条に規定する精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者 ③市長が発行する療育手帳の交付を受けている者 ※上記の者が介助者を必要とする場合、当該障害者1人につき介護者1人	規則第8条第1号	体育館利用料金の10割を減免する
構成員の5割以上が上記①～③の各手帳のいずれかを交付されており、障害者自らが社会参加を図り、かつ自立を目指して活動する団体	規則第8条第2号	体育館を除く各施設の利用料金の10割を減免する
コミュニティセンター運営懇談会が施設を利用する場合	施行規則第8条第3号	体育館を除く各施設の利用料金の10割を減免する
コミュニティセンターまつりのために各施設を利用する場合	規則第8条第3号	施設利用料金の10割を減免する
満65歳以上の者がスポーツ施設を個人使用する場合	規則第8条第3号	体育館の利用料金の2割相当額を減免する
上記のほか、市長が特に必要と認めた者または団体が施設を利用する場合	規則第8条第3号	対象の許可及び減免率については市と協議により決定する
こどもの日・スポーツの日の各1日、市民の日（10月18日）及びその直近の土曜日・日曜日（市民の日が土曜日又は日曜日である場合は直近の金曜日を含む連続した3日間）	管理運営基準2-(2)-イ	体育館の利用料金の10割を減免する
※コインロッカー等の付帯設備については減免の対象外とします。		

・利用料金の減免については、条例第13条及び施行規則第8条にそれぞれ定められた規定に基づき取り扱うものとします。利用料金の減免にあたっては、市民の平等利用を阻害しないよう、明確な判断基準を設け、運用には十分配慮します。判断が難しい内容の場合は、指定管理者独自の判断はせず、市と協議して対応します。

・減免手続きの簡便化のため、減免の対象となる満65歳以上の方が持つ「シニアカード」の提示によって減免を適用しています。手続きを簡略化することで利用者の負担を軽減し、高齢者や障害者の利用を促進します。運用にあたっては十分に市と協議を行いながら、公平・平等利用が妨げられないように行っていきます。

【開館時間】

・開館時間は、現行通り条例に定められた午前9時～午後9時を原則とします。

・開館時間の変更が必要であると判断された場合は、市と協議の上で柔軟に対応します。

【休館日】

・休館日は、条例で定められている年末年始を基本とし、2か月に1日、別途休館日として施設設備の点検等を実施します。なお、休館日は奇数月に固定することで利用者も覚えやすく、混乱を避けることができます。

・特定の曜日の利用者に負担が偏らないよう、休館日とする曜日は毎回変更します。休館日カレンダーを作成の上、館内への掲示、ホームページやSNSでのお知らせ、希望者への配布により周知を徹底し、利用者が混乱しないように努めます。

・大規模な点検や整備等で臨時休館や休館日変更の必要が生じた場合は、必ず事前に市と協議し、許可を得たうえで、早期に周知を図り、利用に支障が出ないように努めます。

【災害時等における開館時間・休館日の柔軟な対応について】

・台風や降雪など事前に予測可能な災害が発生した際は、利用者と職員の安全を最優先し、市と協議の上で開館時間や休館日の変更等を決定します。これらの場合は、市の承認が得られ次第、速やかにホームページや SNS 等を通じて周知します。また、避難所開設の際は、休館日・開館時間に関わらず常に開館するものとします。

2　施設貸出業務に関する実施計画

（1）使用許可受付関係

【諸室の稼働率、利用人数及び利用料金収入、スポーツ施設の利用人数及び利用料金収入の月ごとの計画（目標）を記載すること。下記シートをエクセルにて作成しても可。】

（単位：人・円）

	諸室			体育館		合計	
	稼働率	利用人数	料金収入	利用人数	料金収入	利用人数	料金収入
4月	46.5%	4,885	533,000	1,396	271,000	6,281	804,000
5月	44.6%	4,671	511,000	1,213	236,000	5,884	747,000
6月	47.8%	4,959	548,000	1,130	220,000	6,089	768,000
7月	46.1%	4,564	529,000	1,135	221,000	5,699	750,000
8月	43.9%	5,134	504,000	1,123	219,000	6,257	723,000
9月	46.9%	5,728	537,000	1,041	203,000	6,769	740,000
10月	46.3%	5,803	531,000	1,327	258,000	7,130	789,000
11月	48.8%	4,037	559,000	945	184,000	4,982	743,000
12月	44.7%	4,345	512,000	1,296	252,000	5,641	764,000
1月	46.9%	4,831	537,000	1,031	201,000	5,862	738,000
2月	46.5%	4,517	533,000	1,331	259,000	5,848	792,000
3月	47.8%	4,547	548,000	1,596	311,000	6,143	859,000
合　計	46.4%	58,021	6,382,000	14,564	2,835,000	72,585	9,217,000

（２）利用者サービスの向上、稼働率向上の工夫

【利用者への支援計画及び施設の利用促進の方策に係る年間計画を記載すること。】

■利用者特性別のサービス向上策

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、施設の利用等にあたってバリアを取り除くために対応を必要としている意思が示された時には「合理的な配慮の提供」を行い、障害者や高齢者をはじめ誰もが区別されることなく安心して利用ができるよう、職員の教育を行うとともに、必要な備品等を整備します。

対象者		取組み
障害のある方	歩行の不自由な方	・館内用車いすの貸出、出し入れ等のお手伝い ・杖の貸出
	目や耳に障害のある方	・補助犬の受け入れ ・筆談パッドの設置 ・非常時誘導ボードの用意
	知的・精神障害のある方	・利用者のペースに合わせた対面での受付対応
高齢者		・簡易利用案内の作成 ・文字を拡大した案内パンフレットの用意 ・お手元めがねの設置
妊娠中・子ども連れの方		・幼児室に子育て情報コーナーを設置し、子育てノウハウや遊び場スポットなどの情報を掲示・配布 ・お絵描き用イーゼルの設置 ・幼児室に絵本や塗り絵の常設 ・ベビーカーの貸出
外国人		・75か国語に対応したAI翻訳機「ポケトーク」の設置 ・利用ガイドや災害時の避難所マップなどを外国語で作成

■サークル利用者へのサービス向上策

１．サークル会員の募集支援

①情報発信支援

現在、施設内に掲示板を用意し、会員募集ポスターを一覧で掲示しているほか、会員募集ポスターの作成代行も行っています。今後は、職員がサークル活動に訪問して取材を行い、活動内容などを写真や動画を用いて記事としてまとめ、「長沼プレス」や施設ホームページ・SNSに掲載します。

②サークル体験会の開催（適宜）

サークル団体から希望を受け付け、自主事業としてサークル体験会を開催します。センターが主催となることで、興味関心のある活動に参加することへの心理的ハードルを下げ、サークルの新規会員獲得を促進します。

２．サークル活動の活性化支援

①カラオケ機器の導入

団体の高齢化や講師の方の引退などの事情により、活動の継続が難しくなってきているカラオケサークルを支援するため、レンタル備品としてカラオケ機器を用意し、利用者が活動を続けられる環境を整備します。

②サークル同士の交流支援

異なるサークルの会員同士が交流できるイベントを企画・開催することで、横のつながりを促進し、サークル活動全体の活性化を図ります。また、サークル活動に関する情報を共有する場を提供することで相互理解を深め、連携を促進します。

3．サークル新規組成支援

自主事業やコミュニティカフェ、みんなで育てる図書館等を通して、サークルとして活動を始めたいという方に対して、立ち上げや運営方法、会員の募集等の支援を行います。

■そのほかのサービス向上策

1．利用者の利便性向上

①貸出備品の充実

利用者のニーズに応じた貸出備品を整備します。

【貸出備品】

モバイル Wi-Fi／ホワイドボードマーカー／CD ラジカセ／音響機器とスマートフォンの接続用ケーブル／プロジェクター／移動式スクリーン／湯沸かしポット／電子メトロノーム／ワイヤレスマイク付きアンプ／ビデオ･DVD プレーヤー／電子ピアノ／車椅子／ベビーカー／麻雀用テーブル／スマートフォン充電器 等

②音響機器の Bluetooth 化

音響設備が設置されているすべての諸室で Bluetooth 通信による音楽再生が可能となるよう Bluetooth レシーバーを備品として整備します。

③キャッシュレス決済の導入

利用料金の支払いは現在の現金に加え、クレジットカードや電子マネー、QR 決済など、利用者ニーズを鑑みて支払い方法の多様化に対応します。

2．活動場所・居場所の提供

①自習室の開放

学習を目的とする利用者ニーズに対応するため、空いている諸室を自習室として開放し、学生や社会人が学習で利用できる場を提供します。

②自由にお絵かきのできるイーゼルの設置

幼児室と隣接したロビーの一角に子どもが自由にお絵かきをすることができるイーゼルを設置し、ロビーも親子の居場所として活用していただけるように整備します。

3．市民の健康づくりの支援

①血圧計、体脂肪計などの健康チェック機器の設置

ロビーに誰でも利用できる血圧計や体脂肪計などの健康チェック機器を設置します。これにより、ウォーキングとあわせて高齢者の日々の習慣化を促進します。

②「シニアカード」の発行

千葉市在住・在勤の満 65 歳以上の方に、市内コミュニティセンターで相互利用できる「シニアカード」を発行し、簡便な手続きで体育館を減免利用できるようにすることで、高齢者の健康増進に寄与するとともに体育館利用を促進します。

③体育館利用待ちの方へのサービス

体育館は、当日は先着順での利用のため、先に利用されている方がいるとお待ちいただく場合があります。待ち時間が長くなる際には、外出許可証を発行して、館内でお待ちいただかなくても利用ができるように対応します。

また、体育館の利用をロビーでお待ちいただく利用者には、トランプやオセロを貸し出すことで、待ち時間を退屈せず過ごしていただけるように工夫します。

④ちばシティポイントとの連携

スポーツ施設利用者が対象となるため、ポスターの掲示等により制度の周知を行います。

4．長沼原勤労市民プラザとの連携

①両施設の特性把握によるサービス向上

日程、部屋の用途、駐車場の混雑、活動内容等の理由で本施設での利用ができない・ご要望に沿えない場合には、長沼原勤労市民プラザをご案内するなど、両施設の特性や利用条件を把握し、利用者視点でのサービスを提供します。

②ウォーキングポイントの付与

「長沼原勤労市民プラザ」までの約800mをウォーキング区間として設定し、ウォーキングを行った方にコミュニティカフェ等で利用できる「ウォーキングポイント」を付与する仕組みづくりを行います。日常的な運動により達成感を得ていただくことで、市民の健康活動を支援します。

5．その他の継続するサービス

- **体育館の熱中症対策（スポットクーラー、大型扇風機、給水機の設置）**
- **ロビーへのWi-Fiフリースポットの設置**
- **利用者パソコンの設置と利用方法のご案内**
- **ユニバーサルデザインを取り入れた施設案内サイン**
- **地域情報コーナーの設置（市政情報、市内の公共施設情報、新聞等の配架）**
- **コピーサービス**
- **AI翻訳機「ポケトーク」の導入**
- **千葉市クールスポット制度への協力　等**

■施設の利用促進の方策

1．みんなで育てる図書館の開設

サークル活動で本施設を利用する方はもちろん、個人利用の方、企業利用の方など、これまでコミュニティ活動にあまり積極的に関わって来なかった方も、「本を読む」「本を借りる」「本を寄贈する」だけで、気軽に誰かとつながり、コミュニティ活動に参加できる機会をつくります。

「みんなで育てる図書館」ではワークショップの開催や本棚オーナー制度も採り入れることで、本を通じた交流機会の創出にも取り組みます。

2．ロビーコンサートの開催

施設に訪れるきっかけづくりのため、音楽系サークルによるロビーコンサートを定期的に開催するとともに、個人利用で楽器練習をされている方などにもお声掛けをし、サークル団体と他の利用者がつながる機会を創出します。

3．外国人が教える料理教室

料理実習室を活用して外国人が教える料理教室を開催し、異文化交流を図ります。料理を通して住民が外国文化を学ぶきっかけづくり、外国人住民とつながる機会の創出にもつなげます。

4．コミュニティカフェの継続と発展

誰もが気軽にお茶やお菓子を楽しみながら交流できる場「コミュニティカフェ」は、現在主にサークル活動後の交流の場として機能しており、カフェで提供している焼き菓子等は近隣の障害福祉サービス事業所「おおぞら園」「あけぼの園」「オリーブハウス」から仕入れ、掲示物等を通して利用者にこれらの施設・団体の活動を周知しています。

今後は、コミュニティカフェでのちば FUN くらぶメンバーミーティングやみんなで育てる図書館オーナーによるワークショップ・意見交換会等の開催を通じて、施設・地域活性化のために市民とともにアイデアを出し、事業の企画などにもチャレンジしていきます。

5．ボランティア組織「ちば FUN くらぶ」の継続と発展

現在、ちば FUN くらぶの主な活動である「中庭の花壇の手入れ」や「イベント運営のお手伝い」に加え、今後は、ちば FUN くらぶメンバーとともに、施設周辺の定期的なクリーンアップ活動を実施します。さらに、活動中に気付いた地域課題（道路損傷等）については「ちばレポ」に投稿するなど、施設の枠を越えた地域貢献につなげていきます。

6．地域防災イベント「あそぼうさい」の開催

未曽有の災害に対応するため、防災体験プログラムを通して、防災・防犯について子どもから大人までが楽しく学ぶ「みんなで★あそぼうさい」を実施し、地域の防災力を高めていきます。行政機関や地域の企業との連携により、最新の防災情報を提供するほか、体験プログラムを充実させ、地域防災イベントとしてさらに発展させていきます。

7．地元企業・団体等との連携による「健康チャレンジフェスタ」の開催

地域の企業等との連携による健康体験会を開催し、市民が健康づくりについて考えるきっかけづくりを行うとともに、地域住民が地元企業とつながる場をつくります。

8．地域イベント等への協力

稲毛伝統の夜灯漁を伝えることを目的として、NPO 法人まちづくりスポット稲毛が開催している「稲毛あかり祭 夜灯(よとぼし)」に協力し、灯篭につかう絵を利用者に描いていただくコーナーを本施設ロビーに設けています。今後も地域イベントには積極的に協力し、利用者と地域をつなげる取組みを行います。

9．市民ギャラリーの活用

サークル活動の発表の場として絵画や創作品などを展示する市民ギャラリーをロビーに設置しています。引き続き、近隣保育所の児童の絵の展示などさらに連携先を増やし、子どもたちが地域とつながる場としても活用していきます。

10．施設の活用方法を紹介するチラシの作成・配布

新規利用者層の開拓を目的に、施設の活用用途や登録方法について、イラストや写真を積極的に活用し、視覚的に理解しやすく記載したチラシを作成し、近隣の公共施設や自治会での配布を行います。

11．多彩なイベント・講座の開催

未利用者アンケートによると、本施設を知らない、施設は知っているが何をしているか分からないという回答がまだ多く見られます。本施設に訪れるきっかけづくりとして、様々な世代の方に「行って

みたい」と思われる多彩なイベント・講座を開催します。

①スマホ・パソコンお悩み相談室

メールの送り方や電話のかけ方、ネットを使った調べ物などちょっとしたスマホ操作でお悩みの方に向けた相談会を定期的に開催し、高齢者を中心として本施設に気軽に訪れていただくきっかけづくりを行います。

②生成 AI・Chat GPT 活用講座

技術の発達により生活に身近なものとなってきている生成 AI について、日常生活における活用方法や正しい知識を学べる基礎講座を開催します。

③ピックルボール体験会

若年層の利用のきっかけづくりとして、本施設の体育館で高頻度での利用があり、ルールが簡単で子どもから大人まで気軽に始めることができるニュースポーツ「ピックルボール」の体験会を開催します。

④子ども・親子向けイベント・講座

子育て支援の一環として開催している「乳幼児のための読み聞かせ会」や、夏休みの児童をターゲットに開催している「DIY 講座」など、子育て世代が気軽に単発で参加できるイベントを積極的に企画・開催し、利用促進を図ります。

１２．長沼原勤労市民プラザとの連携

①災害に役立つアウトドアの基礎講座

長沼原勤労市民プラザとの共催により、同施設のグラウンドを使用してテント張りや火おこし体験等を行う「災害に役立つアウトドアの基礎講座」を開催します。本施設のみでは開催できない企画を連携により実施することで、利用者の交流や新たな利用者獲得につなげていきます。

②初心者向けの健康麻雀教室

長沼原勤労市民プラザでは、「健康麻雀教室」が大変人気を集めており、高齢者を中心とした交流の場となっています。しかしながら、定員の関係で健康麻雀初心者も参加できる教室が開催できておらず、参加をお断りしている状況のため、本施設で「初心者向けの健康麻雀教室」を開催することで、新たな利用者獲得を図ります。

3　受託事業及び自主事業に関する実施計画

（1）市からの事業実施受託業務（事業ごとに１枚）

事業名：第２０回長沼コミュニティまつり

内　容

【実施日時・回数、実施場所、実施目的等】

［実施日時］　令和8年11月22日（日）

［実施場所］　全館、臨時駐車場（地域企業の協力によりを確保）

［対 象 者］　サークル団体、地域住民及び団体、近隣交流団体

［実施体制］　運　営：実行委員会（利用団体による主体的な運営）

事務局：職員（会議の司会進行、資料作成、連絡調整、準備など）

協　力：臨時駐車場（近隣企業）

地域枠：市内の活動団体による交流（吹奏楽、合唱、作品展示他）

［実施内容］　展示会（絵画、手芸、生け花、俳句、郷土歴史など）

発表会（ダンス、コーラス、楽器演奏、カラオケなど）

体験会（ステンシル、生け花、茶道、クラフト等の体験）

模擬店（手作りパン販売、手打ちそば、焼きそば等の販売）

［準備計画］　6月：コミュニティまつりへの実施案内を全サークルに配布

7月：サークル代表者会議にて計画概要の説明

8月：実行委員の選定

9月：第1回目 実行委員会を開催

10月：第2回目 実行委員会と参加サークル代表者説明会を開催

1週間前：各部会で調整、サークルのリハーサル・個別準備

当日：全会場にて発表・展示・体験会を実施

成果目標

・施設利用団体の日頃の活動成果の発表、利用団体間の交流と情報交換などができる場となること。

・指定管理者ではなく利用者団体（主にサークル）が主体で実施し、“利用者の利用者による利用者のための交流イベント”を実現し「市民主体の住みよいまちづくり」を推進すること。

・地域ネットワーク（利用者や地域団体、自治会や教育機関、近隣施設や企業など）と、本施設の機能や設備を最大限に活用して、市民主体のイベントとすること。

・［目標来場者数］　1,800 人

事業名：スポーツ施設の無料開放日

内　容

【実施日時・回数、実施場所、実施目的等】

［実施日時・回数］

・5月 5日　こどもの日

・10月12日　スポーツの日

・10月16日・17日・18日（市民の日）

・「こどもの日」「スポーツの日」及び「市民の日」とその直近の土日（市民の日が土曜日又は日曜日の場合は直近の金曜日を含めた３日とする）を、市民の健康への意識を醸成し、健康増進の機会としていただくために、スポーツ施設（体育館）を無料で開放します。

・体育館の無料開放

［対 象 者］　すべての利用者（市内在住の有無を問わない）

［実施体制］　通常利用と同じく、受付窓口にて貸し出し

［実施内容］　活動種目を卓球、バドミントン、バスケットに限定
種目ごとコートを3分の1ずつに固定して１時間単位で貸し出し

成果目標

・体育館：参加者数 500人（全5回）

・無料利用をきっかけに運動習慣をつけ、健康づくりの機会として役立つことを期待します。

事業名：親子でわくわくリズムあそび

内　容

【実施日時・回数、実施場所、実施目的等】

［実施日時］　5月、8月、12月、2月　全4回

［開催場所］　音楽室

［対 象 者］　1歳児以上と保護者

［実施体制］　専門講師によるサポート

［実施内容］　絵本の読み聞かせや紙芝居といった「耳の読書」は、子どもの自主的な読書意欲の向上、読書習慣が身に付くもので、子どもの感性を磨いたり表現力を高める上で重要であると考えます。年齢層別に実施することにより、成長に合わせた図書を選定します。また、簡単なリズムあそびや工作など、体を動かす活動も行い、親子で一緒に楽しい時間を過ごしていただきます。

成果目標

・子どもに進める本のリスト掲示などを積極的におこない、子供たちと本を結びつけるために機会を創出します。
・当センターで活動しているサークルを講師に招き、絵本の読み聞かせや工作、リズムあそびなどを行います。
・サークル活動の活性化やコミュニティづくりに貢献します。
・将来的には「絵本の読み聞かせ」を中心に、様々な子育て支援、相談ができるように実施回数を増やしていきます。
・［参加者数目標］　各30人（合計120人）

（２）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１　ロビーギャラリー
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　ロビー
実施目的：展示サークルに発表の場を提供し、施設に訪れたことのない人が来館するためのきっかけとしてもらう。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　１,０００円 収支差額　　－１,０００円
参加見込人数：―名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 展示サークルの作品の展示スペースを１階ロビーまたは多目的室前につくり、年間を通して各サークルの作品等を展示する。 展示サークルの発表の場・サークルＰＲの場として、来館者の方々に楽しんでいただく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№.2　ロビーコンサート
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　ロビー
実施目的：音楽系サークルに発表の場を提供し、施設に訪れたことのない人が来館するためのきっかけとしてもらう。サークルと地域の人たちの交流を図る。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　０円 収支差額　　０円
参加見込人数：―名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 当センターで活動している音楽系サークルの発表スペースを１階ロビーにつくり、年間を通して各サークルのコンサートを開催する。 音楽系サークルの発表の場・サークルＰＲの場として、来館者の方々に楽しんでいただく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３　長沼コミュニティコンサート
実施日時・回数：令和８年５月・７月
実施場所：長沼コミュニティセンター　多目的室
実施目的：地域住民との交流とサークル活動の促進。
料金設定：　５００円／１回、２,０００円／１回
収支：収　　入　　２３０,０００円 支　　出　　２０８,０００円 収支差額　　２２,０００円
参加見込人数：１４０名×１回、８０名×１回　２２０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 長沼コミュニティセンターで活動されている音楽サークルによるコンサートを開催する。 定期的に活動されているサークルに晴れの舞台を提供することにより、日々の活動の励みとしていただき、メンバーの熱心な演奏を聴くことで来場者や他のサークルが刺激を受け、効果が波及していくことを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№4　パン作り
実施日時・回数：令和８年５月・７月・９月・令和９年１月　　全4回
実施場所：長沼コミュニティセンター　料理実習室
実施目的：パンづくりを通して子どもの発育促進や食への関心を高める。親子や、他の家族とのコミュニケーションを深めるきっかけに役立てる。
料金設定：　２,５００円／１回（大人）、２,２００円／３回（子ども）
収支：収　　入　　８６,０００円 支　　出　　８６,０００円 収支差額　　０円
参加見込人数：８名×１回（大人）、１０名×３回（子ども）　計３８名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 当センターで活動しているサークルの講師を招き、４歳以上の子供または親子を対象に３回、高校生以上の大人の方を対象に１回、パンづくり教室を開催する。 パンづくりを通じて子供たちの発育促進や食への関心を高めるきっかけに繋げるだけではなく、年の違う子供たちとの交流、親同士の交流の場となることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№５　洋菓子作り
実施日時・回数：令和８年１２月・令和９年２月　全２回
実施場所：長沼コミュニティセンター　料理実習室
実施目的：洋菓子作りを通して子どもの発育促進や食への関心を高める。親子間や参加者同士とのコミュニケーションを深めるきっかけ作り。
料金設定：　３,０００円／１回、２,２００円／１回
収支：収　　入　　４６,０００円 支　　出　　４６,０００円 収支差額　　０円
参加見込人数：８名×１回、１０名×１回　１８名（複数回の講座などの場合は内訳も記載）
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 当センターで活動しているサークルから講師を招き、４歳以上の子どもまたは親子、大人の方（高校生以上）を対象に、季節の洋菓子作りを行う。 季節のイベントに合わせたものや、旬のフルーツなどを用いた洋菓子を作る。洋菓子作りを通じて季節を楽しむとともに、参加者同士の親睦の場としても役立てていく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№6　クラフト体験
実施日時・回数：令和８年８月（２回）・１０月（１回））・令和９年３月（１回）　全４回
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室
実施目的：モノづくりに触れる機会の提供、参加者同士の交流のきっかけづくり。
料金設定：　８００円／２回、９００円／１回、1,２００円／１回
収支：収　　入　　３７,８００円 支　　出　　３６,４１２円 収支差額　　１,３８８円
参加見込人数：１０名×２回、１５名×１回、６名×１回　４１名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 小学生以上から大人の方までを対象とした、ハンドメイド・クラフトの製作を行う。 ものづくりの体験を通して参加者同士の交流を期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№.7　ものづくり★DIY 講座
実施日時・回数：令和８年８月
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室
実施目的：DIY の基本的な方法について学ぶ。 モノづくりに触れる機会の提供、参加者同士の交流のきっかけづくり。
料金設定：　３００円／１回
収支：収　入　　４,８００円 支　出　　１８,４８５円 収支差額　　－１３,６８５円
参加見込人数：１６名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 DIY の基本的な方法について学ぶとともに創造力を養うワークショップを行う。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№８　外国人が教える料理教室
実施日時・回数：令和８年６月・１１月
実施場所：長沼コミュニティセンター　料理実習室
実施目的：異文化交流と食への関心、地域住民とのコミュニケーションを深めるきっかけ作り。
料金設定：　２,０００円／１回
収支：収　　入　　６０,０００円 支　　出　　６０,０００円 収支差額　　０円
参加見込人数：１５名×２回　３０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 外国人講師を招き、講師の母国の簡単な家庭料理作りを行う。イベント内では、各国の文化の簡単な紹介などを交え異文化に触れる機会を作るとともに、講師や参加者同士での親睦を深めるきっかけとなることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№９　そば打ち体験
実施日時・回数：令和８年６月
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室
実施目的：食への関心を高め、親子間や参加者同士とのコミュニケーションを深めるきっかけを提供する。
料金設定：　２,０００円／１回
収支：収　　入　１６,０００円 支　　出　１６,３１２円 収支差額　　－３１２円
参加見込人数：８名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 当センターで活動されているサークルから講師を招き、小学生以上の親子と大人の方を対象に、そば打ち体験会を開催する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１０　生成AI活用講座
実施日時・回数：令和８年４月
実施場所：長沼コミュニティセンター　会議室
実施目的：日常生活を豊かにする知識の習得とデジタルリテラシーの向上。
料金設定：　無料／１回
収支：収　入　０円 支　出　６,５９０円 収支差額　－６,５９０円
参加見込人数：１０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 文章作成や情報整理などに活用できる生成 AI の基本的な知識と安全な活用方法を学び、生活をより豊かにするための初心者向け講座を開催する。生成AIへの不安を解消し、デジタル社会への理解を深めるきっかけとなることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１１　災害に役立つアウトドア基礎講座
実施日時・回数：令和９年２月
実施場所：長沼原勤労市民プラザ　運動広場
実施目的：アウトドアでの遊びを通して、災害時でも生き抜く力を身に着ける。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　５,０００円 支　　出　　２２,８４６円 収支差額　　－１７,８４６円
参加見込人数：１６名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 地震や台風といった自然災害の多い日本で生きていくためには、いたずらに恐れるのではなく、毎日の暮らしやアウトドアでの遊びを通して、普段から防災に役立つ経験や知識を積み重ねることが大切になる。 千葉県キャンプ協会より、防災、そしてアウトドアの知識が豊富な講師をお招きし、災害時でも生き抜いていける、アウトドアの基礎知識を習得する。なお、当講座は近隣施設、長沼原勤労市民プラザと共催で行う。

（２）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１２　みんなで★あそぼうさい
実施日時・回数：令和９年１月
実施場所：長沼コミュニティセンター　全館
実施目的：地域における防災意識の向上。
料金設定：　無料／１回
収支：収　入　　３０,０００円 支　出　　１８０,０００円 収支差額　　－１５０,０００円
参加見込人数：８００名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 地域における防災意識を高めるため、消防署、警察署、自衛隊などの協力により防災イベントを実施する。日常ではできない体験を通じて、楽しみながら「自助」と「共助」について学び、防災について改めて考える機会を提供する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１３　長沼シネマ
実施日時・回数：令和８年４月・７月・１０月・令和９年２月
実施場所：長沼コミュニティセンター　音楽室
実施目的：地域住民同士の交流と健康増進。防犯意識の啓発。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　８,２００円 収支差額　　－８,２００円
参加見込人数：１５名×４回　６０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 生涯学習センターの協力により名作映画を上映する。映画を鑑賞することで期待される「血行促進」や「認知能力の向上」、「思考力の向上」、「幸福感の増大」などの効果により日々の健康維持に役立てていただく。また、定期的に実施することで共通の趣味を持つ者同士の交流の機会としていただくとともに、映画前や休憩の合間に防犯動画を観ていただく時間を設けることで、参加者の防犯意識向上のきっかけとなることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１４　わくわく科学実験室
実施日時・回数：令和８年７月
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室
実施目的：科学に関心を持つきっかけづくり、体験を通して考える力・他者と協力する社会性やコミュニケーション力を養う。
料金設定：　８００円／１回
収支：収　　入　　9,６００円 支　　出　　9,６００円 収支差額　　０円
参加見込人数：１２名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 小学生を対象とした科学の簡単な実験を行う。実験を通して子ども達に科学の面白さや、研究心・探求心を養う。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１５　親子料理教室
実施日時・回数：令和８年７月・１２月
実施場所：長沼コミュニティセンター　料理実習室
実施目的：地域の育児支援、親子間や参加者同士とのコミュニケーションを深めるきっかけ作り。
料金設定：　２,２００円／１回、２,５００円／１回
収支：収　　入　　４７,０００円 支　　出　　４７,０００円 収支差額　　０円
参加見込人数：１０名×２回、２０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 当センターで活動されているサークルより講師を招き、４歳以上の子供のいる親子を対象とした料理教室を開催する。料理を通じて子供たちの食への関心を高めるきっかけに繋げるだけではなく、年の違う子供たちとの交流、親同士の交流の場となることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１６　夏休み自習室
実施日時・回数：令和８年７月・８月
実施場所：長沼コミュニティセンター　集会室
実施目的：小・中学生を中心とした学生向けに、落ち着いて学習できる環境を提供する。
料金設定：無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　１９,２００円 収支差額　－１９,２００円
参加見込人数：２００名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 夏休み期間に自習場所を求める学生向けに、空調の効いた部屋で落ち着いて自習できる環境を用意する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１７　乳幼児のための読み聞かせ会
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　幼児室
実施目的：読み聞かせを通して子どもの考える力を伸ばす。地域住民とのコミュニケーションを深めるきっかけづくり。
料金設定：　無料／１回
収支：収　入　０円 支　出　９,０００円 収支差額　－９,０００円
参加見込人数：１２名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 ちば FUN くらぶ登録のボランティアと協力し、毎月第１土曜日に乳幼児を対象とした読み聞かせ会を行う。保育園や幼稚園の外でのコミュニティ形成に役立てていただくとともに、教育業界の仕事を視野に入れている学生たちの活動の場としても発展していくことを期待する。

（２）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１８　親子体操教室
実施日時・回数：令和８年８月
実施場所：長沼コミュニティセンター　多目的室
実施目的：地域の育児支援、親子間や参加者同士とのコミュニケーションを深めるきっかけ作り。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　７,２９１円 収支差額　　－７,２９１円
参加見込人数：１５名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 地域で活動されている講師をお招きし、小学生と保護者を対象とした体操教室を開催する。 親子で一緒に運動をしながら、現代の子どもたちの運動不足解消と親子間のスキンシップを図っていただく。さらに同年代のお子様を持つ参加者同士の交流機会となることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№１９　郷土歴史探訪
実施日時・回数：令和８年５月・１０月
実施場所：長沼コミュニティセンター　屋外
実施目的：郷土愛醸成。地域住民同士の交流と健康増進。
料金設定：３００円／１回、５００円／１回
収支：収　　入　１４,５００円 支　　出　１４,８８５円 収支差額　　－３８５円
参加見込人数：１５名×１回、２０名×１回　３５名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 地域のボランティアガイドにご協力いただき、稲毛区地域を歩いて回る歴史散策を実施する。郷土の歴史に思いを巡らすことで、地域への愛着がより一層高まることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２０　郷土料理をつくろう
実施日時・回数：令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　料理実習室
実施目的：郷土料理の伝承、食育。
料金設定：　２,５００円／１回
収支：収　　入　　３０,０００円 支　　出　　２６,７６７円 収支差額　　３,２３３円
参加見込人数：１２名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 千葉県の郷土料理である「太巻き寿司」を作る。絵柄の作り方の違いから料理の楽しさを再発見し、郷土への愛着や関心を深めていただくことを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２１　初心者対象★卓球教室
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月（GW・夏期除く）
実施場所：長沼コミュニティセンター　体育館
実施目的：健康増進、新たなコミュニティの形成。
料金設定：１,１００円／１回
収支：収　　入　　３６６,３００円 支　　出　　３５７,９７５円 収支差額　　８,３２５円
参加見込人数：９名×３７回　３３３名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 初心者を対象とした卓球教室を開催する。卓球はシニア世代の方も楽しめるスポーツであるため、今回の教室をきっかけに、適度な運動をする習慣を身に付け、健康増進に役立てて頂くとともに、参加者同士の親睦を深め、教室が終った後も卓球仲間として当施設の体育館を利用して頂けることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２２　健康チャレンジフェスタ
実施日時・回数：令和８年１０月
実施場所：長沼コミュニティセンター　多目的室・料理実習室
実施目的：人生１００年時代を見据えた、健康を維持するためのきっかけづくり。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　２４,０００円 支　　出　　８０,７６５円 収支差額　　－５６,７６５円
参加見込人数：２００名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 人生 100 歳時代を迎え、健康づくりの機会として、「健康チャレンジフェスタ」を開催する。血圧測定等の健康測定や体力年齢測定、健康に役立つ食事作り等の体験を通して、健康維持について考えるきっかけとしてもらう。また、健康チャレンジフェスタに協力してくれる各団体と地域住民との交流の機会となることを期待する。

（２）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２３　シニアリーダー体操
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　講習室
実施目的：高齢者向けの体操を実施し、認知症予防・健康増進に役立てていただく。
料金設定：無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　１０,０８０円 収支差額　　－１０,０８０円
参加見込人数：１５名×２４回　３６０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 高齢者の健康づくりを目的として、シニアリーダー体操を実施する。体操を通じて参加者同士の交流を深めることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２４　脳トレ健康体操
実施日時・回数：令和８年６月
実施場所：長沼コミュニティセンター　サークル室
実施目的：健康の維持増進、地域コミュニティの醸成。
料金設定：　３００円／１回
収支：収　　入　　４,５００円 支　　出　　４,３７０円 収支差額　　１３０円
参加見込人数：１５名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 簡単な健康体操や、脳トレゲームを行います。体だけでなく頭の体操にもなるので、記憶力の向上や認知症予防にも役立つことを期待します。また、イベントを通して、地域の健康支援や参加者同士の交流のきっかけになることを期待します。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２５　スマホ・パソコン相談
実施日時・回数：令和８年５月・６月・８月・９月・１２月・令和９年２月
実施場所：長沼コミュニティセンター　集会室
実施目的：高齢者のスマホやパソコンに対するお悩みを解決し交流を図る。シニア層のオンライン支援
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　７,３８０円 収支差額　　－７,３８０円
参加見込人数：５名×６回　３０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 シニア世代の利用者を対象にしたスマホやパソコン操作の相談に対応する。相談としてだけではなく、利用者とセンター職員との交流・意見交換の機会を設けることで、情報交換や新たなコミュニティ形成の機会となることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２６　はじめての健康麻雀解説講座
実施日時・回数：令和８年６月
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室
実施目的：認知症予防、健康増進、新しいコミュニティの形成。
料金設定：無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　１,５９０円 収支差額　　－１,５９０円
参加見込人数：１２名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 完全初心者向けの健康麻雀解説講座を行う。健康麻雀に興味があるが、タイミングや教えてもらえる場所がないという地域の方に健康麻雀のルールを覚えて新たなコミュニティに参加するためのきっかけを提供するとともに、健康麻雀初心者という共通点を持った参加者同士の交流の場としても活用していただく。

（２）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２７　健康麻雀教室
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室・会議室
実施目的：認知症予防、健康増進、新しいコミュニティの形成。
料金設定：１,０００円／１回
収支：収　　入　　４３２,０００円 支　　出　　２６１,０４８円 収支差額　　１７０,９５２円
参加見込人数：１２名×３６回　４３２名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 初心者から中級者を対象とした健康麻雀教室を定期開催する。定期的に健康麻雀に参加することで認知症の予防や健康増進につなげていただくとともに、健康麻雀という共通の趣味を持った参加者同士の交流の場としても活用していただく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２８　ピックルボール体験会
実施日時・回数：令和８年６月
実施場所：長沼コミュニティセンター　体育館
実施目的：健康増進、新たなコミュニティの形成。
料金設定：６００円／１回
収支：収　　入　　７,２００円 支　　出　　９,１１０円 収支差額　　－１,９１０円
参加見込人数：１２名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 アメリカ発祥のニュースポーツ「ピックルボール」の体験会を実施する。ピックルボールはコートが比較的狭く、激しい動きの少ないスポーツのため、運動初心者やシニア世代までの幅広い年代の方に運動の機会を提供するとともに、世代を超えた交流のきっかけとなることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№２９　歌声の会
実施日時・回数：令和８年６月・９月・１２月・令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　多目的室・音楽室
実施目的：発声による健康増進、新しいコミュニティの形成。
料金設定：５００円／１回、無料／１回
収支：収　　入　３７,５００円 支　　出　２３,４６２円 収支差額　１４,０３８円
参加見込人数：２５名×３回、４０名×１回
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 講師の伴奏にあわせて、懐かしのメロディから季節のメロディなどを一緒に大きな声で歌い、声を意識的に出すことによる健康増進と参加者同士の交流機会を提供する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３０　グリーンカーテン作り
実施日時・回数：令和８年５月～８月
実施場所：長沼コミュニティセンター　屋外
実施目的：環境問題への啓発。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　５,０００円 収支差額　　－５,０００円
参加見込人数：―名（複数回の講座などの場合は内訳も記載）
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 ロビーに面した屋外につる性植物の種をまき、グリーンカーテン作りを行う。ロビーではグリーンカーテンの育成状況や、環境問題についての啓発ポスターなどを掲示し、夏へ向けての「省エネ」を呼びかけていく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３１　地球温暖化について知ろう
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　ロビー
実施目的：地球温暖化防止についての理解を深め、地域の人たちと共に省エネ・CO2 削減の取り組みをしていく。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　０円 収支差額　　０円
参加見込人数：―名（複数回の講座などの場合は内訳も記載）
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 ロビーの一角を用いて、地球温暖化による自然環境の変化や絶滅危惧種の現状や、身近にできる環境対策などの情報を展示。情報は定期的に更新を行う。 地球温暖化によって、地球にどのような変化が起きているのかを自然環境の変化や絶滅危惧種の現状を具体的に紹介することで、身近な問題として意識していただけるようにする。 また、温暖化対策として、ゴミの分別や節電など日常生活で実践していけることも合わせて紹介し、当センターで行っているグリーンカーテンづくりの様子など、展示内容を定期的に更新することで、関心を深めていただくコンテンツを増やしていく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３２　DIY 広場
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　創作室
実施目的：文化・創作活動の促進と施設機能の周知。
料金設定：無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　１１,７６０円 収支差額　－１１,７６０円
参加見込人数：６０名
内容：（自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載） 年間を通して定期的な創作室の無料開放を実施する。気軽に創作活動に触れる機会を提供することで、地域住民の文化活動への参加意欲を高めていただくとともに、創作室の認知度向上を図り、施設の有効活用につなげていく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３３　みんなで育てる図書館
実施日時・回数：令和８年６月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　ロビー
実施目的：利用者サービスの向上と新たなコミュニティの形成。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　４９,３００円 収支差額　－４９,３００円
参加見込人数：―名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 １階ロビーに書架を設置し、来館者が自由に読書できる図書スペースを運営する。書架の本は寄贈を募ることで増やしていくが、希望者には運営に参画していただき、オーナーとして自由に好きな本を並べることができる棚スペースの設置やワークショップを開催など、趣味の仲間づくりや気軽な自己表現の場として活用していただく。 同じくロビーで開催しているコミュニティカフェとも連携し、誰でも気軽に立ち寄ることのできる解放された場として、地域課題の解決や新たなコミュニティの創造につながることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３４　コミュニティカフェ
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　１階ロビー
実施目的：利用者サービスの向上を目的に、コミュニティカフェとしての地域の居場所を提供する。
料金設定：コーヒー１８０円、焼き菓子２００円～３００円　他
収支：収　　入　　４２４,０００円 支　　出　　３６５,３００円 収支差額　　５８,７００円
参加見込人数：―名（複数回の講座などの場合は内訳も記載）
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 地域コミュニティ形成のためのカフェとして、地域に根差した運営を目指していく。 運営は指定管理者が中心となって行っていきますが、地域に同じこころざしを持った方がいれば、「ちばＦＵＮくらぶ」として一緒にコミュニティカフェの運営に携わっていただき、地域の課題解決に向けた場所としての活用もしていく。また、利用サークルのロビーコンサートや展示発表などを連携させコミュニティの活性化につなげていく。 飲み物としてコーヒーや紅茶を販売するほか、当センターの近隣にある障害者就労支援施設の「あけぼの園」様及び「おおぞら園」様と連携したフィナンシェ等の焼き菓子販売や同じく障害者就労支援事業を行う「社会福祉法人オリーブの樹」様と連携したカップアイスの販売を行う。 期待される効果としては、地域の課題解決に向けた場所として、コミュニティセンターのロビーを使っていただき、近隣自治会や企業とも連携して、子どもから高齢者の方まで気軽に集える居場所づくりを目指していく。また、サークル発表の場としてロビーコンサートや作品展示を行うことで、サークル利用者と地域住民の間に新たなコミュニティが生まれることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３５　ボランティア組織　ちばFUNくらぶ
実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター
実施目的：ボランティア組織を形成することで、利用者と運営者が交流し、利用者のご要望を直接お聞きすることで、施設運営の品質向上を目指していく。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　２４,０００円 収支差額　　－２４,０００円
登録見込人数：―名（複数回の講座などの場合は内訳も記載）
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 施設応援ボランティア「ちばＦＵＮくらぶ」を組成して、当センターの運営に積極的にご協力をいただくとともに、将来的には「市民主体の住みよいまちづくり」の中心的な役割を担えるように、「ちばＦＵＮくらぶ」による地域活動を応援していく。 また、「ちばＦＵＮくらぶ」の方々に本施設の運営についての意見や要望、気が付いた点など、忌憚のないご意見をいただき、施設運営の品質向上と地域への貢献で成果をあげていく。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３６　お茶会（意見交換会）
実施日時・回数：令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　会議室
実施目的：利用者との意見交換。世代間交流。
料金設定：　無料／１回
収支：収　　入　　０円 支　　出　　４,５９０円 収支差額　　－４,５９０円
参加見込人数：１０名
内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】 利用者とお茶を飲みながら、肩肘張らずにゆったりと意見交換を行い、当施設のあらゆるサービス向上に繋げる交流会を行う。 サークルや世代間の垣根を超えて交流をすることにより、利用者同士の情報交換や新たなコミュニティ形成の機会となることを期待する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名：№３７　通信カラオケレンタル事業
実施日時：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　大広間
実施目的：健康寿命の延伸およびコミュニティ活動の支援。利用者サービスの向上。
料金設定：６００円／１コマ（２時間）
収支：収　　入　　３６０,０００円 支　　出　　３６０,０００円 収支差額　　０円
利用者数：６００名
内容：【自主事業の内容、目的、期待される効果等を記載】 大広間利用者向けに通信カラオケ設備の有料レンタルサービスを実施する。減少傾向にあるカラオケサークルの活動を支援するとともに、サークル団体以外の市民の皆様にも気軽にカラオケのできる環境を整備することで趣味の活動や人とのつながりの場を提供する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名称：№３８　体育館用具レンタル事業

実施日時・回数：令和８年４月～令和９年３月

実施場所：長沼コミュニティセンター

実施目的：体育館利用者が道具を忘れた場合、道具を有償でレンタルまたは販売することによって、お客様サービスの向上を図る。

料金設定：

■レンタル

・卓球ラケット 100 円／本　　・卓球ピン球 50 円／個

・バドミントンラケット 100 円／本　　・バスケットボール 50 円／個

■販売

・バドミントンナイロンシャトル 200 円／個　　・バドミントンフェザーシャトル 350 円／個

※価格は状況に応じて見直しを行う。

収支：

■収入

・卓球ラケット	100 円×250 本＝25,000 円
・卓球ピン球	50 円×110 個＝ 5,500 円
・バドミントンラケット	100 円×780 本＝78,000 円
・バドミントンナイロンシャトル	200 円×120 個＝24,000 円
・バドミントンフェザーシャトル	350 円×240 個＝84,000 円
・バスケットボール	50 円×155 個＝ 7,750 円
	合計＝224,250 円

■支出

・卓球ラケット	1 本×1,850 円＝1,850 円
・卓球ピン球	1 箱（50 個）×5,000 円＝5,000 円
・バドミントンラケット	10 本×1,700 円＝17,000 円
・バドミントンナイロンシャトル	120 個×150 円＝18,000 円
・バドミントンフェザーシャトル	240 個×300 円＝72,000 円
・バスケットボール	1 個×2,000 円＝2,000 円
	合計＝113,850 円

■収支差額

（収入）224,250 円－（支出）113,850 円＝110,400 円

内容：【自主事業の内容、成果目標、期待される効果等を記載】

体育館は、原則道具を持参していただくことになっていますが、道具を持参しないで来館されるお客様もいる為、道具を有料で貸し出しをすることでお客様サービスにつなげ、機会損失を防ぐことができる。また、有料にすることで、次回から道具を持参することをお客様に意識付けしていただく効果が期待できる。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名：№３９　コピーサービス
実施日時：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター　１階ロビー
実施目的：利用者の利便性を図るため。
料金設定：　白黒　１０円／枚　　カラー　５０円／枚
収支：収　　入　　２２,５００円 支　　出　　６,５００円 収支差額　　１６,０００円
利用者数：利用者並びに地域住民
内容：【自主事業の内容、目的、期待される効果等を記載】 施設周辺にコピーができるコンビニがないため、利用者の利便性の向上を図るため、コピーサービスを実施する。

（2）自主事業（事業ごとに１枚）

※内容により下記の形式によりがたい場合は、適宜調整してください。

自主事業名：№４０　広告宣伝費他
実施日時：令和８年４月～令和９年３月
実施場所：長沼コミュニティセンター
実施目的：利用者の利便性を図るため。
料金設定：―
収支：収　　入　　０円 支　　出　　１８,０００円 収支差額　　－１８,０００円
利用者数：利用者並びに地域住民
内容：【自主事業の内容、目的、期待される効果等を記載】 自主事業実施にかかるキャッシュレス決済手数料および広告宣伝費等。

4　施設維持管理業務に関する実施計画

（1）建築物、建築設備機器保守管理業務

【施設の清掃、点検等の保守管理に係る年間計画を記載すること。文章に加え表を使用し記載すること。】

・設備については、長期保全を目的として、設備機器個別単位で設備診断カルテを作成し、老朽化が進む中で設備の大規模修繕を最小限に防ぎます。

【 主な設備管理の業務指針 】	
運転監視方法	管理マニュアルに基づき運転・監視・需給状態を管理し、「設備運転日誌」に記録。
日常点検業務	日常の機器運転管理・点検を管理マニュアルに基づき実施。点検時に正常に機能しない場合、原因及び対応処理について、「設備運転日誌」に点検記録を保存し、所長に報告。
定期点検・ 整備点検	年１回以上、機器を停止し、外観・機能・動作の点検・整備を実施。必要な消耗品も更新する。管理運営基準に記載の「年１回」は施設設備の耐久性の維持及び安全確保の最低限の点検周期と捉え、追加で自主点検を定め、日常的視点で施設・機器を管理する。
防災対策施設 機能維持業務	消防設備（火災報知機、放送設備、避難器具等）、非常用発電機、エレベーターなどの防災対策関連施設については、災害時に備えて点検管理を行う。点検時に適正に機能しない場合は、診断カルテをもとに速やかに原因を究明し修理にあたる。

■点検記録による作業内容の把握

施設維持管理業務は年度初めに年間計画を作成し、市の要望に応じて報告します。

書式	内　容
年間作業予定表	自社及び業者による年間保守点検の作業予定表(年度初め)
設備運転日誌	設備の検針データ、作業内容等の日報
月次報告書	毎月の点検・修繕等の作業報告（翌月 10 日までに作成）
診断カルテ	設備機器のメーカー名、型番等の記載や不具合の発生・原因、 修理履歴等（日々更新）

【施設の清掃、点検等の保守管理に係る年間計画】

作業内容		実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
清掃業務	日常清掃	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	床面洗浄	6回		○		○		○		○		○		○
	カーペット	6回		○		○		○		○		○		○
	窓ガラス	6回		○		○		○		○		○		○
設備管理業務等	建物設備運転監視	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自家用電気工作物保安管理	12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防設備保守点検	2回				○						○		
	建築設備定期調査	1回												○
	空気環境測定	6回		○		○		○		○		○		○
	雑用水水質検査	6回		○		○		○		○		○		○
	飲料水水質検査	2回					○						○	
	緑地管理	2回			○					○				
	非常用自家発電設備保守	1回				○								
	中央監視・自動制御点検	1回								○				
	給湯器点検	1回												○
	昇降設備保守点検	12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自動ドア保守点検	3回		○				○				○		
	雨水再利用設備点検	6回		○		○		○		○		○		○
	フロン排出抑制法定期点検	1回				○								
	機械警備	毎日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	一般廃棄物処理業務	12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（２）備品管理業務

【備品の点検等の保守管理に係る年間計画を記載すること。文章に加え表を挿入すること。】

■安全性と快適性に配慮した備品管理

備品及び消耗品等については、数量・状態を常にチェックし、不足する前に補充する等、利用者が安全・快適に使用できるようにします。備品等の異変に気付きやすいのは日常清掃担当者のため、清掃中に、異常・異変を発見した場合、維持管理責任者に報告し対応します。千葉市の備品については市の規定に基づいて管理台帳及びラベルで管理しています。備品の新規購入、用途廃止にあたっては、事前に市に確認するものとし、盗難や不正な流用が無いよう厳重に管理します。消耗品等の購入時は、環境負荷等に配慮し、グリーン購入に取り組みます。

■購入備品の透明化

新たに購入した備品等は、市に金額の報告を行い、リストを作成して管理します。

令和８年度　　備品購入台帳

品名・商品名	使用場所	メーカー・品番	金額

（3）植栽、外構施設維持管理業務

【植栽の維持管理及び外構施設の清掃、点検等の保守管理に係る年間計画を記載すること。文章に加え表を使用し記載すること。】

・日常的な管理として、雑草の繁茂期には職員がこまめな除去を行い、景観を保全します。また、秋季においては、樹木からの落ち葉が近隣道路や住居等へ飛散することで、ご迷惑をおかけしないよう、施設周辺の落ち葉清掃も定期的に実施します。
・専門業者による剪定は、利用者の安全と植栽の育生・保全に配慮し、利用者が比較的少ない期間（10月頃）に年1回実施します。
・薬剤散布の際は「千葉市の施設等における農薬・殺虫剤等薬物の適正使用に係る指針」等を参考にし、散布する際は事前に利用者及び近隣施設にお知らせすることで、安全・安心の確保に努めます。
・本施設は畑が隣接しており、風や大雨による敷地内への土砂の流入が頻発するため、利用者にご迷惑をおかけしないよう職員による定期的な対応を行います。また、東日本大震災以降、雨が降った際に駐車場に水たまりが発生しやすくなっているため、利用者への注意喚起を行います。

項目	回数/年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日常植栽管理業務	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定期植栽管理	1							○					

（4）環境衛生管理業務

【給排水設備の保守管理、ごみ処理及び害虫駆除などに係る年間計画を記載すること。文章に加え表を使用し記載すること。】

・本施設は「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の特定建築物には該当しませんが、環境衛生を確保するため、上記法律に準じた適正な測定及び調整を実施していきます。

項　目	内　容	頻　度
空気環境	空気環境測定	6回/年
	空気調和設備点検	2回/年
雑用水	雑用水水質検査	6回/年
	雨水再利用設備点検	6回/年

項　目	内　容	頻　度
飲料水	飲料水水質検査	2回/年
清掃	日常清掃	毎日
	床面定期清掃	6回/年
	ガラス定期清掃	6回/年

・ごみ処理については、「千葉市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例」に基づき、廃棄物管理責任者を配置し、減量計画書の作成をするとともに、廃棄物の適正処理と減量・再資源化を積極的に推進しています。

■感染症対策について

感染症拡大防止策として、職員が媒介者とならないよう衛生管理を行います。特にトイレ清掃においては、手が触れる箇所や洗面台を中心に消毒を行います。洗浄に関しては、感染予防のため蓋を閉めて流すように指導をします。

（５）駐車（駐輪）場管理業務

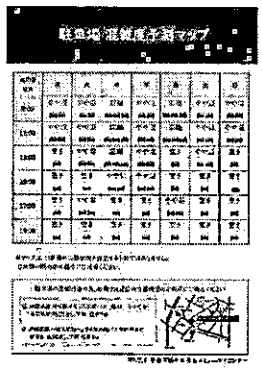
【駐車（駐輪）場の保守管理に係る実施計画を記載すること。文章に加え表を挿入すること。】

■平常時における駐車場・駐輪場の管理

駐車場については、職員による監視カメラの確認及び巡回監視・誘導を行うとともに、清掃担当者の外回り巡回清掃時にも状況監視を行います。合わせて、駐輪場についても、誘導、自転車整理を行います。また、施設利用者以外の方が駐車場・駐輪場を利用することがないよう、車両の監視及び誘導を行います。

■混雑時における駐車場・駐輪場の管理

駐車場及び駐輪場の混雑時には、職員による監視カメラの確認及び巡回監視頻度を高めるとともに、必要に応じて人員を配置し、車両整理及び歩行者の安全確保を積極的に実施します。また長年の運営経験から駐車場の混雑状況を予測できるため、利用者への事前の声かけや館内や施設ホームページ及びSNSに駐車場混雑度マップの掲示をするとともに、館内にバスの時刻表を掲示し、公共交通機関の利用を促すことで、混雑緩和に努めていきます。



■臨時駐車場の確保

駐車場利用が増大することが事前に判明している時には、近隣の商業施設「スポーツウェーブ鉄腕24稲毛長沼店」及び「ロジスティード東日本(株)千葉中央営業所」の駐車場を臨時駐車場としてお借りし、駐車場の満車時には臨時駐車場への誘導を実施しています。引き続き、すべての方に不便なくご利用いただけるよう、近隣施設との信頼関係を維持継続するとともに、安全・安心な駐車場管理を行っていきます。

■放置自転車への対策

日頃から長沼交番との連携を図り、放置自転車が本施設の敷地内にあった場合には、長沼交番に連絡をして、盗難自転車であるかの確認をします。防犯登録をしている自転車の場合は持ち主に連絡をするなどして、地域の安全・安心の確保を目指します。

（6）保安警備業務

【警備業務の年間計画を記載すること。文章に加え表を挿入すること。】

■職員による目視での入退室管理と監視カメラによる警備

・職員による目視での入退室管理により利用者の安全確保に努めます。また目の届きにくい場所は、監視カメラで事務所内から確認します。

・閉館時は責任者が最後に退館し、閉館チェックリストの記入、施錠及び機械警備のセットを行い、緊急時の警備会社からの連絡は所長に届くようにします。

・貸出時の鍵の受渡しは記録し、警備日誌を職員で共有することで事故等の未然防止につなげます。

■職員による施設内外の巡回

・開館時間中は職員によるランダム巡回を行い、安全管理に努めます。

巡回時のポイント	① 任意の時間で巡回する ② 過去の警備事象の発生頻度に基づいてルートを調整する ③ 特別な理由なくドアや窓が開いていないことを確認する ④ 不要な照明は消灯し、火災、盗難の早期発見と予防に努める ⑤ 消火器の位置及び避難出口に障害物がないか確認する ⑥ 不法侵入者や盗難等を発見した場合は、警察へ通報する ⑦ 不審物を発見した場合は、警察へ通報する ⑧ 侵入者が身を隠し易い場所は常に留意する(重点：体育館倉庫等) ⑨ 子どもが特に階段、ロビーで走り回るようなことがないように注意する

【本施設において特に巡回が必要な場所】

場所・項目	巡回での確認内容・対策
駐車場等	利用者以外による駐車場の利用や利用者による路上駐車の確認、声掛け、掲示物での注意喚起。
たばこの吸い殻	敷地内は禁煙ですが、たばこの吸い殻が落ちていることがあるため、敷地内禁煙の注意書きを掲示。敷地外の駐車場入り口付近にも吸い殻が捨ててあることがあるため、注意して確認・清掃。
体育館裏	日没後は暗く、不審者が潜んでいても館内からは気が付きにくい箇所のため、注意して確認。特に女性が体育館を使用している時は意識して見回りをする。
トイレ	過去にトイレットペーパーの盗難被害があったため、定期的に巡回。

（7）修繕業務

【可能な限り詳細に記載すること。突発的な修繕など、まとめないと表現できないものは「その他小破修繕」として計上可とする。】

No.	修繕箇所	計画額 （単位：千円）	実施時期	状　況
1	その他小破修繕	1,000	通年	突発的な修繕に対応。
2				
3				
4				
5				
合　計		1,000		

・突発修繕の対応

施設は適切に管理していても突発的な修繕は発生してしまいます。そのため、長期修繕に関わる費用とは別に突発修繕分の費用を計上し、修繕費としています。

施設運営の専門企業として、内製化出来るものは自分たちでおこない早期対応と経費削減を図るとともに、専門性が高い又は大がかりな修繕が必要な際には、各専門企業の複数社から相見積りをとり、信頼ができて適正価格を提示した企業を選定して修繕を実施します。

（8）その他

【施設維持管理に関し、その他特記すべき事項があれば記載すること。】

5　経営管理業務に関する実施計画

（1）再委託業務

（単位：千円）

No.	再委託業務	再委託先	再委託先所在地	委託金額（税込）
1	エレベーター保守管理	エス・イー・シーエレベーター㈱	東京都	400
2	消防設備保守点検	平和防災㈱	千葉市	333
3	機械警備業務	セコム㈱	千葉市	235
4	自動ドア保守点検	ナブコシステム㈱	千葉市	200
5	中央監視・自動制御点検	アズビル㈱	千葉市	418
6	自家用電気工作物保守管理	新菱電気保安協会	千葉市	213
7	雑用水水質検査	アクアス㈱	千葉市	40
8	飲用水水質検査	アクアス㈱	千葉市	18
9	緑地管理	㈲大木造園	成田市	111
10	一般廃棄物処理業務	㈱京葉エナジー	千葉市	200
11	建築物定期調査	㈲ジャパンゲート	印西市	91
12	非常用自家発電設備保守	㈲ジャパンゲート	印西市	86
13	フロン排出抑制法定期点検	㈲ジャパンゲート	印西市	132
合　計				2,477

（2）管理業務の実施状況に関する自己評価

【施設の管理運営に関する自己評価の実施時期、方法等の年間計画を記載すること。】

・月次の経営会議による目標達成に向けた進捗確認の実施。

・代表企業の地域ミーム事業部長と弊社が運営する千葉市内８施設の所長による経営会議を実施します。さらに、必要に応じて代表企業の取締役等も同席することで、本施設を専門的な視点から多面的にサポートしていきます。

・この経営会議では、当月の経営報告に基づき事業計画が確実に実行されているかを確認するとともに、次月以降の計画について見直しを行います。また、指定管理期間中に“社会情勢”や“利用者及び地域ニーズ”などの変化により事業計画に齟齬が出てきた場合にも、月次の経営会議の場で議題とすることにより、迅速かつ柔軟な対応を行います。

（3）利用者意見等の把握と対応

【利用者等アンケート及び地域住民等の意見の把握方法並びにその意見等に対する対応方法、実施時期等の年間計画を記載すること。】

・館内での紙による回収、SNSやウェブフォームを活用した調査、地域イベント会場での対面調査など、幅広い方から意見を徴収するため、多様な手法を組み合わせて行っていきます。

調査方法	利用者	未利用者	地域住民	市
1. お茶会、ちばFUNくらぶなど	●	●	●	
2. アンケートボックス（常設）	●			
3. 利用者ヒアリング（随時）	●			
4. 利用者アンケート	●			●
5. SNS・インターネット書込調査	●		●	
6. 未利用者アンケート		●	●	
7. 顧客満足度調査	●			

1．「お茶会」の開催や「ちばFUNくらぶミーティング」の開催

地域住民や利用者の声を聴く「お茶会」を開催しており、日々の運営やイベントについて忌憚ない改善点などご意見をいただき、運営の改善につなげています。今後は、ちばFUNくらぶメンバーによるミーティングも開催し、ともに運営改善を行っていきます。

2．未利用者アンケート

利用者だけでなく未利用者を含む地域住民全体の多様なニーズを把握し、施設運営に反映させていくため、私たちは未利用者を対象としたアンケートも定期的に実施しています。本施設を利用されたことが無い方にも、フレスポ稲毛や長沼勤労市民プラザ等の周辺施設などでアンケート調査を行い「なぜ利用したことがないか」「どのようなサービスやイベントがあれば利用したいか」などを調査し、利用者の拡大につなげます。

6　その他